

平成29年度 みのりこども園 職員自己評価(集計結果)

H29.11.1配布・実施

教育保育方針・教育保育目標

- 一人ひとりの子どものありのままを受容し心の安定を図り、子ども・保護者・保育教諭三者の信頼関係を深める。
- 一人ひとりの子どもの心身の発達を保证する。
- 安全でゆとりある生活環境を提供し、気持ちの良い園生活を送れるようにする。

教育保育理念:『慈悲 やさしい心』『無我 すなおな心』『因縁 つながり』これら三綱領を根本に置き、社会福祉の精神にのっとり、保護者に代わって「子どもの愛される権利」「守られる権利」を十分に理解して教育・保育にあたると共に、宗教的情操を培い、心豊かな人間形成を念願して、乳幼児の健全育成を図る。

【評価 5:できている 4:ほぼできている 3:どちらともいえない 2:あまりできていない 1:できていない】

質問内容		総計				
		5	4	3	2	1
教育課程・指導	園の教育保育目標を理解し、実践している。	14.5	63.6	20.0	1.8	0.0
	年間目標を理解し、実践している。	10.9	63.6	23.6	1.8	0.0
	園児への個々に応じた指導・関わりは適切である。	10.9	63.6	25.5	0.0	0.0
	運動会・発表会等各種行事は計画に基づいて適切に準備できている。	21.8	69.1	7.3	1.8	0.0
	職員間のチームワークや連絡体制等、連携ができています。	20.0	61.8	16.4	1.8	0.0
	子ども達のしたいことや、興味のあることを取り入れている。	12.7	61.8	23.6	1.8	0.0
	研修・研究への意欲・態度は適切である。	14.5	52.7	29.1	3.6	0.0
環境・安全管理	安心・安全を第一に考えて、環境整備や園児自身が安全に気をつけて行動できるように援助できている。	38.2	60.0	1.8	0.0	0.0
	子ども達の思いや言動を参考にしながら、クラスの装飾や展示を考えている。	16.4	49.1	27.3	7.3	0.0
	アレルギー児や体調不良児への対応や、投薬の流れ、ルールの把握と実行には配慮して対応することが出来ている。	54.5	40.0	5.5	0.0	0.0
	緊急時(事故・感染症の発生時など)の対応などの体制が整備されている。	40.0	52.7	7.3	0.0	0.0
子どもとの接し方	その場にふさわしい言葉遣いや、すべての子どもに平等に接している。	18.2	74.5	5.5	1.8	0.0
	家庭での様子や発達の個人差を考慮し、子どもの思いを大切に援助を工夫している。	18.2	63.6	18.2	0.0	0.0
	遊びを通してルールを学んだり、子ども達が主体的に楽しく行動できるようにしている。	25.5	56.4	18.2	0.0	0.0
保護者との連携	保護者への情報の発信と受信は適切である。	20.0	65.5	12.7	1.8	0.0
	園だより、クラスだよりの内容や配布頻度、時期は適切である。	30.9	56.4	10.9	1.8	0.0
	園全体で協力、支援体制ができ、保護者対応は適切である。	18.2	67.3	14.5	0.0	0.0
その他	子育て支援『きしゃぼんぼ』の利用者に配慮し、楽しく親しみやすい雰囲気づくりを大切に行っている。	29.1	50.9	18.2	1.8	0.0
	給食、おやつ内容は充実している	23.6	61.8	14.5	0.0	0.0
	地域への情報発信や交流・連携は積極的に行われている。	10.9	54.5	32.7	0.0	0.0
	遅刻等ないように就業規則を理解し、誠意をもって業務遂行にあたり	52.7	47.3	0.0	0.0	0.0
	健康面等、自己管理に気を付けている。	43.6	50.9	5.5	0.0	0.0
	挨拶電話対応等外部への対応は適切に行っている。	18.2	67.3	14.5	0.0	0.0

<教育課程・指導>

- ・教育目標など理解しているが、実践となると技術、努力が必要だと感じる。行事は計画に基づいて実践しているが、実践していく中では余裕がなく、行事一色になっていくのが反省点。
- ・毎月のカリキュラムを記入していく際に、目標等確認し把握しているつもりだが、目の前のことに夢中になり、忘れてしまいがちであった。
- ・理解は出来ていても実践できていないこともあるので改善していきたい。
- ・職員間の伝達がいっていないときがあるように感じる。
- ・個々に応じた指導・関わりは心がけているが、それが適切かどうか自分でわからない部分もある。職員間でのチームワークで日々の保育が成り立っているのを実感している。研修に行くことで課題もいただいているが、以前に比べ意欲的に出来ているかどうかは自分自身の改善すべき点である。

<環境・安全管理>

- ・ケガをさせたこともあるが、安全を第一に仕事に取り組んでいる。
- ・乳幼児部になって、制作物の展示をほとんどしておらず反省。
- ・アレルギー児や投薬はクラス内で連携して対応している。
- ・看護師免許取得者が在職しているので、何かの折は相談したりできるので安心である。
- ・(感染症についての予防として)嘔吐して服が汚れた場合、洗って返していたが、洗う際に水しぶきが飛び散り、それが感染源となるそうなので、改善点として衣服はそのまま返す。そして家庭での処置の仕方を伝える。
- ・アレルギー児の部屋での確認や、突発的な子どもの体調の変化の対処などまだまだ分からないことが多いので、ナースによる園内研修などがあれば...と思う。
- ・アレルギー児への配慮は、全職員への周知・確認が出来ていると思うが、幼児部乳幼児部全てとなると確実にないと思う。その時々での確認が必要。

<子どもとの接し方>

- ・稀にだが、子どもの名前呼び捨てが気になる時がある。
- ・配慮が足りない部分もあると思うが、その時その場での子どもとの接し方は平等に、思いを大切に考えている。

<保護者との連携>

- ・クラス便りは号外を出して、もっと園での様子を伝えなければと思うが、作れていないのが反省。クラスの子の支援状態を担任同士で集まり話す機会がなかなか取れない。
- ・幼児部よりもクラス便りは減ったが、毎日保護者の方と直接話せるので発信、受信はしやすい。しかし、子どもの様子の伝え方は難しいと感じることもあった。(かみつきなど)

<その他>

- ・保護者への言葉づかいが敬語でなかったりすることがあるので、気を付けなければならないと思う。
- ・自分のクラスを運営するのに必死で、きしゃぽぽへ来られている方へは挨拶程度しか出来ていなかった。
- ・地域交流の取り入れ方が難しい。
- ・挨拶や電話対応、保護者との話し方など自分でも至らないことがある。難しいだろうが職員全員で学ぶ場があればと思う。
- ・出来る限り遅刻等無いよう、早めに出勤することや、体調面でも自己管理には心がけている。